

日本学生支援機構大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除」  
修士課程及び専門職学位課程に係る特定分野について

関西大学 奨学支援グループ

1 修士課程

研究科	科学技術イノベーション創出に寄与する分野 (情報・AI、量子、マテリアル等)		大学の強みや地域の強み等を生かした分野	
	該当	理由等	該当	理由等
法学	○	法学研究科では、知的財産法等をはじめとする科学技術イノベーションの創出、保護、活用に欠かせない分野での研究が行われている。特に情報・AI等の最先端分野では加速する技術の進歩に即して、いかに技術を適切に保護し活用して社会を発展させるのかについての法学、政策的な研究は不可欠である。法学研究科における科学技術イノベーション創出に関わる専門的な研究はますます重要になってきていると言える。	○	法学研究科は、研究者養成の法政研究コース、主に司法書士や弁理士、税理士、社会保険労務士等の資格取得をめざす者、企業の法務担当者を志望する者、国家・地方公務員、国際機関の職員等を目指す者のための高度専門職業人養成コース、留学生を対象に英語で講義を行う国際協働コースの3つのコースを開設している。長年の研究者、法曹、専門職業人輩出の歴史とその規模、そしてその広いネットワークは、全国的にも屈指の存在であると思われる。
文学	○	文学研究科では、自然科学分野との連続性を有する研究領域をも含む、人文学各分野の多様で学際的な教育・研究を有機的に構成・展開しており、そうした多様な研究領域の相互交流によって、イノベーション創出の源泉となる多角的な知見を生み出しているため。	○	人文学各分野の専門知識・技能によって、関西を中心とする地域の文化や社会に焦点を当てた教育・研究に取り組み、地域社会に貢献できる人材を輩出しているため。 また、副専攻 EU-日本学教育研究プログラムや日本語教師養成講座(大学院コース)を設置し、グローバルな視野に立って、人文学の専門家としての自覚を持ち、未解決の課題に取り組む姿勢を示す人材を輩出しているため。
経済学	○	本研究科は、国内外の諸課題を、経済学の知識を用いて解決するための教育・研究活動を行っている。様々な技術が生み出される社会環境、それが経済及び人々の厚生にもたらす影響等に対する研究は、科学技術イノベーションの創出とその社会的影響分析のための研究であり、本分野に該当している。	○	本研究科では、国際的な視野を持ち、経済学の高い専門性を活かし、社会に貢献することを目指して研究・教育を行っている。都市部にある総合大学で、教員数・国内外の学生数、他大学との交流も多いという大学・地域の強みを生かして知識の共有が生まれやすく、学際的な研究が行われており、本分野に該当する。
商学	○	商学研究科では、高度な情報通信技術を用い、企業内外に蓄積されている膨大なデータを活用して新しい価値を創り出すことができる人材(データ・サイエンティスト)を育成することを目的とした DS プログラムなど、科学技術分野における高度な研究能力を有する研究者及び専門職業人を養成する教育プログラムを提供している。	○	商学研究科では、歴史・理論・実証・ケーススタディなどの複数のアプローチから小売業を把握し、グローバルな視点から課題を解決することができる人材を育成することを目的とした GR プログラムや、税務および会計に関する高度専門職業人の養成を目的とした TAS プログラムなど、様々な分野における高度な研究能力を有する研究者及び専門職業人を養成する教育プログラムを提供している。
社会学	○	科学技術イノベーション創出には、そのイノベーションが真に社会の発展に資するものかどうかを見極める必要がある。本研究科では、社会における多様な考え方や様々な価値観を認め、新しく、より望ましい社会を構築するための方策を考える訓練を課している。これは科学技術イノベーション創出に際して必要不可欠な姿勢である。	○	日本を代表する商業都市であり、中小企業の街である大阪にある大学であるということを生かしてフィールドワークを行ったり、地域の社会問題解決に取り組んでいる。 また、総合大学である強みを生かして、研究科間、専攻間の交流も盛んである。
総合情報学	○	総合情報学研究科博士課程前期課程においては、研究者もしくは高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」として活動するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる学生に学位を授与している。具体的な取組みとしては、複数教員による指導体制をとる課題研究科目において、AI・ロボット・機械学習等を用いた最先端の研究・開発を進めており、学生との共同研究の成果が実装段階に進むなど、科学技術イノベーション創出に寄与している。	○	高槻市やその他自治体と地域連携に関する包括協定を締結している本学の強みを生かし、本研究科において、さまざまな研究・教育活動を行っている。高槻市との連携事業としては、大学院生も履修可能な「社会調査実習」において、「高槻市と関西大学による高槻市民郵送調査」を実施し、調査手法に関して社会的還元を行っている。また、大阪市や堺市との連携事業では、歴史的遺産の多い地域の強みを生かし、「芝居町道頓堀の景観復元」、「堺市博物館所蔵品の企画展におけるデジタル・体験型展示「源氏物語を見る」」など、デジタルコンテンツ制作の分野において、その技術の社会的還元を精力的に行っている。

理工学	○	本研究科では、科学技術イノベーション創出を目的とした研究活動を幅広い研究領域(3つの専攻と、それらに属する9つの分野)で行っています。また、教育の観点からは、当研究科のディプロマポリシーとして、「研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、理工学各分野それぞれの高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる」ことを挙げており、科学技術イノベーション創出を担う人材育成を行っています。よって、本研究科は科学技術・イノベーション基本法2条に定める「イノベーションの創出」に寄与する分野に該当すると判断いたします。	○	本学では先端科学技術推進機構を設置し、学部学科を超えた枠組みで先端的な理工学研究・開発を推進しています。一例として医工薬連携研究センターでは関大メディカルポリマー(KUMP)を活用した医療器材の開発と人材育成に努めています。また地域再生センターでは、地域コミュニティの持続的な再生に向けた取組や共創により価値を生み出す研究および実践的活動を継続して行っています。本研究科は各分野において上記機構と密接な関わりをもち、相互に連携を図りながら高度な研究活動を行っております。よって本研究科は本制度に定める「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」に該当すると判断いたします。
外国語教育学	○	今後の日本が向かう共生社会において、文化を超えたコミュニケーションや言語の教育の重要性が高まる中、それらに寄与する科学技術の基礎となる諸研究分野を擁するため。	○	ライフスタイルに合わせて学べる多彩なコース設定やリモート履修制度、海外の大学との連携によるDDプログラムや日本語教育実習など、これまで構築してきた豊かな学修環境のもと、外国語教育学、異文化コミュニケーション学、通訳翻訳学を中心とする学際的かつ実践的な学びが可能であるため。
心理学	○	心理学研究科では、最先端の科学技術を生かして心理学的研究を行うとともに、得られた知見と科学技術とを組み合わせることで社会実装を目指す研究を行うことができる。	○	心理学研究科では、研究成果を地域社会や企業組織等の現場に還元することを重視しており、地域住民への心理的支援サービスの展開や、地域の企業と提携した産学共同研究が行われている。
社会安全	○	第6期科学技術イノベーション計画において「レジリエントで安全・安心な社会の構築」が掲げられており、さらに文理横断的に「総合知」によるアプローチが掲げられている。いずれも社会安全研究科の研究教育内容と合致する。また「AI×社会安全」の学びについては学部教育から積極的に実施しており、研究科においても「防災・減災の理工システム系」という教育の柱がある。	○	文理融合の幅広い研究分野を基盤に、学際的・複眼的アプローチを通じ安全安心な社会の実現を目指すという強みを活かした研究教育に取り組んでいるため。また地元の学校や全国各地の減災地等のフィールド調査を実施し、安全・安心の観点から地域に寄り添った研究も進めているため。
東アジア文化	○	人文情報学(デジタル・ヒューマニティーズ)の手法を用いた新しい東アジア文化研究を行っているため。	○	東アジアにおける諸文化の形成と展開および相互関係を把握し、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた人材を輩出しているため。
ガバナンス	○	ガバナンス研究科は、社会科学分野において総合的・学際的な教育研究を行い、国際社会でも通用する課題を発見する能力等を有し、自らが創り出した政策を実行に移して、社会的なイノベーションを創出できる人材を養成する研究科であるため。	○	ガバナンス研究科は、吹田市等との連携協定のもと、地域と連携し、複雑な社会問題の解決に対して政治セクター、市場セクター、市民セクターが協働して問題解決に取り組む高度公共人材を養成する研究科であるため。
人間健康	○	本研究科では、認知症予防と脳領域活性化に寄与する体操等の運動を開発する研究や、介護者の身体的・精神的負担を軽減する方法を開発する研究、並びに競技スポーツでのパフォーマンス向上を客観と主観の両面からアプローチする研究方法を院生に教授している。	○	関西大学は本研究科のある大阪府堺市との間で「地域連携事業」を実施している。本研究科では、それを活用して学校教育やクラブ活動を支援し、地域住民の健康や幸福に寄与する様々な事業を行ってきたが、その事業に院生を参加させ、研究・教育の機会としてきた。

## 2 専門職学位課程

研究科	科学技術イノベーション創出に寄与する分野 (情報・AI、量子、マテリアル等)		大学の強みや地域の強み等を生かした分野	
	該当	理由等	該当	理由等
法務	○	法務研究科では、「知的財産法」関係授業科目を複数設けており、これらにより、科学技術イノベーション創出に寄与することができる人材を輩出しているため。	○	法務研究科では、臨床実務科目である「リーガルクリニック」を開講しており、関西法律学校を前身とする本学にあって、その理念である「学の実化」を同授業科目により実践しているため。
会計	○	修了生の多くが進む公認会計士業界においては、組織内会計士として担う企業の情報システムのIT化と、それに対する監査業務を担う監査事務所のAI導入が重要課題となっている。企業と監査事務所双方におけるDXの進展に対応した科目は、会計専門職大学院における配当科目の一部を構成している。	○	大阪にある4大監査法人はクライアント数も職員数も東京に次ぐ規模を誇っている。またわが国の会計専門職大学院12校のうち本大学院は、大阪に唯一存在する会計大学院であり、設立以来、いち早くコンピュータを利用した企業情報の処理及び監査業務への応用を教育科目のなかに取り入れてきた。

以上